

2011年9月26日

昭和電線ホールディングス株式会社  
(コード番号 5805)

## 2011年 昭和電線グループCSR報告書 発刊

昭和電線ホールディングス株式会社（取締役社長 相原雅憲）は、2010年度の昭和電線グループのCSR活動報告および今後の取り組みを「CSR報告書2011」として取りまとめました。今年度は表紙デザインを一新、中心に配されたキューブは、人と自然をテーマにした多数の写真で構成されています。これは昭和電線グループがあらゆる角度、そして個人からグループ単位までCSRに配慮した企業活動を行なっていることを意味しています。掲載項目では生物多様性の保全、環境貢献製品などの項目を増やし、今年度からはじまる第5次ボランタリープランや東日本大震災への対応も掲載しています。



## 【主なトピックス】

## 1. 社会・経済報告

- ・東日本大震災への対応：被災地における支援、義援金、節電対策など報告

そのほかの活動報告として、コンプライアンス強化や株主・投資家への取り組み、人権・雇用、安全・衛生、地域コミュニケーションへの取り組みなど掲載しています。

## 2. 環境報告

- ・生物多様性：鳥の巣箱の設置、緑のカーテン活動
- ・環境貢献製品：昭和電線の環境配慮製品の中からさらに環境に貢献できる製品の紹介
- ・第4次ボランタリープランの達成状況：温暖化効果ガス削減、廃棄物・排出量削減など5項目で達成したが、リーマンショック以降の生産量の落ち込みにより電線・光ファイバの単位当たりのエネルギー消費量原単位項目は目標未達成となった。
- ・2011年度からはじまる第5次ボランタリープランの策定：さらなる取り組みの強化と新たに生物多様性の保全、環境貢献製品の拡大の項目の追加。

そのほか環境マネジメント体制、地球温暖化防止、化学物質の管理強化などの活動報告を掲載しています。

## 3. 環境会計

2010年度の環境会計は、「銅の回収、再資源により得られた収入額」が増加し、経済効果は前年度より85百万円改善し3,045百万円となりました。

グループ全体 (単位:百万円)	2010年度		2009年度	
	投資額	費用	投資額	費用
環境保全コスト	285	687	252	857
経済効果	3,045		2,960	

この件に関するお問合せは、下記宛にお願いします。

経営企画部 IR・広報グループ 03-5532-1911